

令和6年11月14日

鎌倉市長  
松尾 崇 様

大船自治町内会連合会  
会長 秦 豊昭



要 望 書

大船消防署の深沢地域整備事業用地への移転計画見直しについて

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当自治町内会連合会の事業活動につきまして、格別なご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、令和6年（2024年）7月5日のふれあい地域懇談会において、「公共施設再編計画に伴う大船消防署の深沢地域整備事業用地への移転について、小袋谷跨線橋が整備され、深沢方面から大船方面へのアクセスが格段に向上したことから、公共施設再編計画で位置づけたもので、公共施設再編計画に伴う消防署の移転・統合については、市全体の配置バランスを踏まえ、消防力が低下することが無いよう車両・人員数を検討し、市民が不安にならないよう進めています。」と、松尾崇市長から説明がありました。

また、計画を進めていく上では、地域住民の不安を解消できるよう、町内会等からあらゆる機会を通じて丁寧意見を聞くなど、今後も協議を進め市民説明を行って行く予定とのことでした。

火災への備えはもとより、近年は、気象変動による豪雨災害も頻繁に発生しており、地震災害についても地震調査研究推進本部地震調査委員会は、確率値を更新しました。主なところでは、「宮城県沖の陸寄りの地震」の30年以内の発生確率が、70%~80%から70%~90%に「南海トラフ地震」については、マグニチュード8~9クラスの地震の30年以内の発生確率が70~80%（2020年1月24日時点）とされており「首都直下地震」で想定されるマグニチュード7程度の地震の30年以内の発生確率は、70%程度（2020年1月24日時点）と予測しています。

当、大船自治町内会連合会としても防災対策に取り組む必要性を強く認識しております。

これらの問題は、一自治町内会連合会で対応することがはなはだ困難であります。

災害に強い安心・安全な町づくり、防災機能のバックアップという観点から「地域防災計画」を再構築して頂き大船消防署を先端技術とバックアップ機能を備えた拠点になるよう、鎌倉市にお願いいたく要望します。

私共も地域関係者との調整などに積極的に取り組んで参りたいと思っておりますが、鎌倉市におかれましては、是非とも、公共施設再編計画の再考を賜りますようお願いを申し上げます。

敬具

大船自治町内会連合会

- |             |        |                 |        |
|-------------|--------|-----------------|--------|
| 1 山ノ内上町町内会  | 上原 義幸  | 15 大船仲通町内会      | 権頭 泰雄  |
| 2 山ノ内中町北町内会 | 古川 均   | 16 梅田町内会        | 齊藤 勇   |
| 3 山ノ内中町南町内会 | 鈴木 三千子 | 17 松竹前町内会       | 岩崎 安男  |
| 4 山ノ内下町上町内会 | 柴田 勝五  | 18 小袋谷町内会       | 齊藤 誠七  |
| 5 山ノ内下町中町内会 | 金田 三千雄 | 19 離山町内会        | 後藤 広二  |
| 6 山ノ内下町下町内会 | 小泉 権七  | 20 栄町町内会        | 堀 直樹   |
| 7 富士見町町内会   | 齋藤 尊司  | 21 南ヶ丘自治会       | 久坂 誠治  |
| 8 末広町町内会    | 齊藤 利昭  | 22 谷之前自治会       | 渡邊 哲夫  |
| 9 戸ヶ崎町内会    | 水野 真人  | 23 大船町内会        | 松本 明   |
| 10 戸ヶ崎あけぼの会 | 上村 浩之  | 24 岩瀬町内会        | 安増 裕治  |
| 11 市場町内会    | 北村 充成  | 25 今泉町内会        | 高橋 育雄  |
| 12 台町内会     | 山ノ井 信弘 | 26 今泉台町内会       | 山本 昭夫  |
| 13 つるまい町内会  | 秦 豊昭   | 27 高野台自治会       | 喜田 薫博  |
| 14 田園町内会    | 水島 三千夫 | 28 コーブ野村鎌倉・台自治会 | 和久津 隆司 |